

高梁偉人列伝 ②

慶応4(1868)年1月3日、鳥羽伏見の戦いでの敗戦により備前中山藩は朝敵となり、備前岡山藩(鎮撫使)による松山征討が起きました。藩主・板倉勝静が不在だった備前中山藩は抗戦か恭順(降伏)かで二分しますが、単雄は藩存続を第一とし「恭順」に意見をまとめ、鎮撫使との交渉に臨みます。

1月15日、単雄らは美袋村現在の総社市美袋で鎮撫使と会見。鎮撫使より降伏嘆願書の草案を示されます。草案には「大逆無道」(人の道

に背き道理を無視した行為)という言葉があり、それに対して方谷は「殿に汚名を着せることはできず、この四文字を取り除かれなければ切腹する」と憤慨しました。単雄らは「大逆無道」の削除を求めましたが交渉は難航。このとき、単雄は涙を流しながら懇願したと言われています。この必死の訴えに感動した鎮撫使の計らいにより、「大逆無道」は「軽挙暴動」(軽はずみな行為)に改められました。

1月18日、備前中山藩は城地を明け渡し無血開城を果たしました。開城後、単雄は泣いて主家の再興を願ったと言われています。また、君命なく開城したことについて責任を感じ、切腹を試みますが、それを察した三島中洲らに説得され思い止まっています。後に中洲は、単雄の美袋での号泣とこの時の号泣の音が耳から離れないと語っています。

明治2(1869)年11月、備前中山藩は高梁藩として再興し、単雄は「功績第一等」として表彰され、藩の最上級職に任命されました。



「大石単雄自訴状控え」(高梁市歴史美術館寄託) 備前岡山藩に、勝静の処罰が寛大なものになるよう新政府に取り計らっていただきたいと願ったもの



きゅうまつやまはらうおおいしくんひ 旧松山藩老大大石君碑 (八重籬神社)

また、無血開城時には敵方である鎮撫使からも「赤穂の大石の再来」と言われたとされており、そうした評価からも単雄が備前中山藩に忠義を尽くし、幕末の動乱期に大役を成し遂げた人物であったことが伺えます。

松山征討と単雄の涙

大石単雄をご存じでしょうか。幕末の備前中山藩を救った人物としては山田方谷が最も有名ですが、大石単雄は藩を救った影の立役者と言える人物です。

単雄は代々板倉家に仕え、家老を世襲した大石家の長男として城下の本丁(現在の内山下)に生まれました。方谷に学び、藩校有終館会頭(教諭)や元締役など、要職を経て筆頭家老として幕末を迎えました。

に背き道理を無視した行為)という言葉があり、それに対して方谷は「殿に汚名を着せることはできず、この四文字を取り除かれなければ切腹する」と憤慨しました。単雄らは「大逆無道」の削除を求めましたが交渉は難航。このとき、単雄は涙を流しながら懇願したと言われています。この必死の訴えに感動した鎮撫使の計らいにより、「大逆無道」は「軽挙暴動」(軽はずみな行為)に改められました。

1月18日、備前中山藩は城地を明け渡し無血開城を果たしました。開城後、単雄は泣いて主家の再興を願ったと言われています。また、君命なく開城したことについて責任を感じ、切腹を試みますが、それを察した三島中洲らに説得され思い止まっています。後に中洲は、単雄の美袋での号泣とこの時の号泣の音が耳から離れないと語っています。

こうした活躍があまり知られていないのは、史料が少ないためだと思われませんが、昨年、単雄の働きぶりを示す関係史料が新たに発見されました。

史料は、明治2年6月に藩主の勝静と単雄による明治新政府への自訴状の控えで、これまで受け取った側の備前岡山藩の史料は知られていませんが、提出した側の史料が確認できたことに大きな意義があります。

内山下の八重籬神社には、三島中洲による単雄の顕彰碑が建立されています。碑では、備前中山藩主水谷家の断絶時に城の受け取りを行い後に忠臣蔵で有名となる赤穂藩の大石内蔵助と、単雄の二人を比較しています。備前中山藩でつながり、苗字・立場が同じ二人を「赤穂の大石は死して主君浅野内匠頭の恨みを晴らしたが、松山藩の大石は生きて国難を救った」と記し、単雄の功績を讃えています。

幕末の偉人伝 ②

大石隼雄

文

西雄大

高梁市歴史美術館学芸員

発見された新たな史料

大石内蔵助と大石単雄

高梁市図書館のイベント情報

おはなしたまてばこ おはなし会

日時 平成31年1月12日(土)午後3時~3時30分
場所 4階多目的室
申し込み 自由参加

からふるうろこのかんたん万華鏡づくり

日時 平成31年1月13日(日)午後1時~4時
場所 4階キッズライブラリー
内容 魚のうろこを染めた素材を使って万華鏡を作る
申し込み 自由参加(時間内出入り自由)
参加費 800円(材料費)を当日持参

季節のうたとおはなし with アンダンテ

日時 平成31年1月19日(土)午後2時~2時30分
場所 4階よみかせスペース
内容 女性合唱団による歌と絵本の読み聞かせ
申し込み 自由参加

高梁市図書館 ☎(22) 2912

午前9時~午後9時 開館(年中無休)



ホームページ

えほんの読み聞かせ~成羽図書館~

日時 平成31年1月12日(土)午前10時~
小型絵本 あわぶくたつた
大型絵本 どんぐりたろうのき
紙芝居 こてんぐちゃん
工作 ふしぎなおもちゃを作ろう

成羽図書館 ☎(42) 2589

午前9時~午後5時 開館(月曜日休館)

第1・3月曜日 (21日のみ)	巨瀬小学校 なごみの森	12:50~13:20 14:30~15:30
第1・3火曜日 (15日のみ)	川面小学校 川面地域市民センター 津川小学校 落合地域市民センター 津川地域市民センター	10:00~10:30 10:30~11:30 13:05~13:30 14:00~15:00 15:30~16:00
第1・3水曜日 (16日のみ)	有漢西小学校 川上ふるさとプラザ 養護老人ホーム成羽川荘 日名神楽公園	10:10~10:40 14:00~15:00 15:30~15:45 16:00~16:30
第1・3木曜日 (17日のみ)	福地小学校 やまびこカフェ 宇治小学校 宇治地域市民センター 松原小学校	10:15~10:40 11:15~12:15 13:00~13:30 14:30~15:30 16:00~16:20

※平成31年1月1日(火)から1月7日(月)まで運休します。

今月のおすすめ図書



児童書

おばけのてんぷら

せなけいこ 作・絵 ポプラ社 出版
せなけいこさんの「おばけシリーズ」の1冊です。子どもが興味を引くシンプルで可愛い絵は読み聞かせにもぴったりで、お化けの行動にくすくす笑ってしまいます。主人公のうさこがてんぷらを作る過程が丁寧に描かれていて、揚げたてのてんぷらが食べたくなるような1冊です。

図書室の紹介~川上図書室~

吉備川上ふれあい漫画美術館の向かいにある川上図書室では、児童書と一般書を約9000冊所蔵しており、市内の図書館から本を取り寄せることもできます。静かな落ち着いた空間です。ぜひお気軽にご利用ください。



川上図書室(川上総合学習センター2階) ☎(48) 2203

午前9時~午後5時 開館(土・日曜日と祝日は休館)

平成31年1月の移動図書館

第2・4月曜日 (28日のみ)	玉川地域市民センター 吹屋連絡所 ささゆり苑	10:00~11:00 14:15~15:15 15:45~16:15
第2・4水曜日 (9日・23日)	川上小学校 西山郵便局横 富家小学校(9日のみ)	10:00~10:20 11:40~12:10 13:05~13:25
第2・4木曜日 (10日・24日)	巨瀬地域市民センター 玉川小学校 イズミゆめタウン 有漢東小学校	10:00~11:00 12:40~13:40 14:15~14:45 15:30~15:55
第2・4金曜日 (11日・25日)	中井小学校 高倉地域市民センター 中井地域市民センター 落合小学校	10:15~10:45 12:30~13:00 13:30~14:00 15:30~16:00